



# とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1997



河津桜 (前宿町) 提供: 宮内 宗一 会員 (20)

第1997回 例会 平成25年3月19日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 石上 明宏 会長  
ロータリーソング … それでこそロータリー  
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 石上 明宏 会長  
御 祝 披 露 … 石上 明宏 会長  
誕 生 祝 … 澤田 武男 会員(3月18日)  
結 婚 記 念 日 … なし  
入 会 記 念 日 … なし

幹 事 報 告 … 藤崎 一成 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「3.11 洋上での23時間」

宮内 幸雄 会員

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

第9回定例理事役員会 (例会終了後)

来週のプログラム (平成25年3月26日)

\*\*\*\*\*

卓 話

「『食育』に関わって学んだこと」

銚子市家庭教育指導員

明石 登喜雄 氏

お食事「大新」



Peace through Service 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度 RI 会長 田中作次



## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) みんなに**公平**か
- 3) **好意**と**友情**を深めるか
- 4) みんなの**ため**になるかどうか

第 1996 回例会(平成 25 年 3 月 12 日)

### 会長挨拶

石上 明宏

68 年前の 3 月 10 日には一夜で 10 万人が命を落とした東京大空襲、そして昨日 3 月 11 日、二万人以上の命を奪った東日本大震災から丸二年が経ちました。今でも東電の福島第一原発で避難生活を余儀なくされている方や、津波により家が流され、仮設住宅に住む方など沢山います。震災が関係しているかはわかりませんが、今住宅状況の話題となっているのが「2.5 世帯同居」、今日はそのメリットについてお話しします。

2 世帯同居、3 世帯同居くらいまでなら聞いたことのある話ですが、今「2.5 世帯同居」が話題になっているとのこと。旭化成研究所の調査結果でみえてきた、新しい同居のあり方だそうです。

具体的に 2.5 世帯同居とはどのような暮らしなのか。これは親と子が同居する 2 世帯同居に、単身の子ども(つまり、子世帯にとっての兄弟姉妹)が同居する、という形のことを指します。非婚化や離婚率の上昇、未婚男女の増加などを背景に出てきた同居のあり方だといえます。しかし 2 世帯同居に独身の兄弟姉妹なんて、お互いに気まずい思いをするのではないか……? と思われがちですが、そこには意外なメリットがあるようです。

まず、2.5 世帯に住む家族に「2.5 世帯同居の住まいについてどう思うか」を聞いてみると、父 95%、母 84%、夫 81%、妻 79%、単身男性 82%、単身女性 86%が「よい(計)」と答え、概ね満足し、気まずさが先行しているというわけではないようです。「よい(計)」の内訳の中では「世帯別の空間が確保できるならよい」が、父 51%、母 53%、夫 48%、妻 53%、単身男性 43%、単身女性 45%と、お互いの生活空間が確保できていることも気まずさの減少に寄与しているようです。

満足している他の理由として大きいのが経済的メリット。これは、同居している単身の子どもにとっては当然として、同居する母親にも言えるといえます。実は 2.5 世帯同居は 2 世帯同居に比べ、親世帯の母親の就業率が高いことが分かっています。これはつまり単身の子ども

がいることで、いざというときに母親の代役を務めることができ、2 世帯同居に比べ、より母親の就業を助けることができるためだと考えられています。こうした母親の就業は、一家の経済の一助となるはずだからです。

また、親と暮らす単身の子どもは女性の方が多いことが分かっていますが、単身女性の場合は 84%がフルタイム、6%がパートタイムと 9 割が就業しており、75%が実家に生活費を入れています。さらに、このことは新居の建設にも関係しています。新居を建設する際、親世帯の資金提供の割合は 2 世帯同居の場合は父親の 75%、母親の 26%が建設費を出しているそうですが、2.5 世帯同居の場合だと父親の 86%、母親の 34%が提供とそれぞれ上昇します。単身の子どもが入れる生活費や資金が影響していると考えられ、新居建設に関しても間接的に単身の子どもが経済的影響を及ぼしていることが分かります。

さらに、2.5 世帯同居は子世帯の教育面でも影響を与えているといえます。2.5 世帯同居の子世帯へのアンケートによると、同居によって親世帯とはもちろん、兄弟姉妹(子世帯の子どもにとっては叔父、叔母)と交流することができ、知識を得たり、人見知りを改善したりすることができたといった声がかかれたそうです。

少子高齢化社会である現在、両親の介護が必要になった場合などを考えても、2.5 世帯同居はメリットのある同居といえるかもしれません。

男女の未婚化、少子高齢化、厳しい経済状況。こうした背景を加味しつつ、家族や兄弟、互いのメリットを考えた場合に、2.5 世帯同居という選択肢が増えつつある状況なのかもしれません。

当クラブを一家と考えたら、同じだと思われそうです。会員が増えると経済面も多少は楽になったり、委員会活動も一人にかかる負担が軽減されたり、何よりも人数が増えると勢いが出ると思います。その意味で、さらなる会員増強をお願い致しまして本日の会長挨拶とします。

### 幹事報告

1・ガバナー事務所より

・R I : 2012-13 年度会長賞に関するお知らせ

・麻薬・覚せい剤乱用防止センター：ニュースレター第 88 号 受領

2・銚子市交通安全都市推進協議会より

平成 25 年春の全国交通安全運動実施計画説明会の開催について (通知) 受領

3・米山梅吉記念館より

館報・春季例祭のお知らせ 受領

4・例会変更のお知らせ

小見川RCより

3/20(水) 休会 (春分の日の為) 受領

佐原RCより

4/11(木) 点鐘 18:30 「亀甲堂」 移動例会

5/23(木)→5/19(日)・20(月) 移動例会  
(静岡研修旅行) 受領

☆週報受領 佐原RC 八日市場RC

## 卓 話

「こうして僕は世界を変えるために一步を踏み出した」  
NPO法人テラ・ルネッサンス  
理事・創始者 鬼丸 昌也 氏

### 【インタビュー いのちの響き】

—テラ・ルネッサ  
ンスを設立した  
きっかけは？

一つは、高校三  
年生の夏休みに  
参加した「一食を  
捧げる運動」のス  
タディーツアー



です。ツアーで訪れたスリランカで、農村開発運動の創始者であるA・T・アリアラトネ博士と出会い、博士からいただいた「一人ひとりに未来をつくる力がある。その力がみんなにあることを信じるならば、必ずすべての出来事は変えることができる」という言葉に胸を打たれました。世界を変えるために、僕にも何かできるかもしれないと思いました。

そして、大学四年生のとき、地雷原を訪れ、衝撃を受けたのです。そこは「生活の音」のない世界でした。話し声や洗濯や料理をする音も聞こえない。聞こえるのは地雷除去要員の静かな息遣いと金属探知機の音だけ。なんとかしなければいけない。僕には地雷除去の知識も技術もなければ、多額の寄付もできないけれど、何かできないだろうかと考え抜き、現地での体験を伝えることならできると思い至りました。

帰国後、NPOのミーティングなどで講演を重ね、その活動を事業として確立しようとテラ・ルネッサンスを設立しました。以来、カンボジアの地雷除去支援、ウガンダでの元・子ども兵の社会復帰支援などの活動を続け、今年で十二年めになります。

—NPO法人として活動を続けていくのは、ご苦労も多いと思いますが、

社会の課題を解決するという目的を追求することが大

事であって、手段はなんでもいい。時代や社会の要請に応えられる組織は継続し、応えられない組織は潰れていくと思っています。

活動をするなかでは、うまくいかないことや、失敗することもあります。でも続けられるのは、自分の成長を感じていけるからです。人のためではなく、自分のためだからです。人間は自己成長に最大の喜びを感じるといわれますが、自分のことは他者との関わりのなかでしか確認できません。社会貢献とかボランティアとか、身近な人を応援することも、みんな自分のため。そうして続けていくと、他者と自分の利益が一致していくと思います。世界の大きな幸せと、自分の小さな幸せは、切り離すことのできない一つのものだと思います。

—昨年からは、東日本大震災復興支援にも取り組まれていますね。

震災復興支援については、迷いました。国内支援の経験はなく、東北に人脈もない。期限を決めて活動しないと、途方もない費用と人材が必要になる。どうすべきか、職員と話し合っていると、ウガンダのスタッフから電話が入りました。「お世話になっている日本人がひどい被害を受けている。何かできないかと思い、スタッフと元・子ども兵の社会復帰プログラムを卒業して働いている人たちが募金を集めました。日本の事務所はどうするの？」と。

ウガンダの公務員の月給は約七千円なのに、一日で集まった募金は五万円。僕たちには支援しないという選択肢はなくなりました。それからすぐに支援物資を送ったり、現地での活動を開始し、そこで出会ったボランティアの人たちと僕たち職員とで、大槌復興刺し子プロジェクトを立ち上げました。

—刺し子プロジェクトとは、どのような支援活動なのですか。

東北に伝わる刺し子の技術を使った製品を、被災された方自身に製作・販売していただくプロジェクトです。現地入りして、被災した方たちも、自分も復興のために役に立ちたいと思っていらっしゃることを知りました。男性は瓦礫撤去などがありますが、中高年女性のすることがない。そこで、「役に立ちたい」という心に光を当てた支援をさせてもらいたいと思ったのです。

津波で妹さんを亡くされた七十代の女性は、なぜ自分が助かったのかと複雑な思いを抱えていました。そんななか、刺し子プロジェクトに参加し、自分にもできることがあると実感しました。すると元気が出てきて、妹さんが営んでいた焼鳥屋を再建しようと決意しました。そ

の話ネット上で知った人たちが、食器や機材などを送ってくれるようになり、刺し子で得た収入を併せて、昨年十二月、仮設商店街に焼鳥屋を再建されました。

僕たちは小さな団体なので、大きな支援はできません。最大ではなく、一人ひとりに応じた最良の支援活動をしたいと考えています。

一ボランティア活動に参加したいと思っても、日々の生活に追われ取り組めないという人も少なくありません。

僕はありがたいことに、仕事として社会貢献活動に携わることができます。でも、世界中の人が社会貢献活動をしていたら、社会は回らなくなります。

何か物事を始めようとするとき、できるかできないか、百かゼロかで判断しがちだと思いますが、百ではなく0.01でもいいと思います。ゼロだと、いくら掛けても0ですが、0.01なら、いつかは一になり、十になり、百になる。できるところに光を当てればいい。「百円の募金できた」でも、「ニュースを見て心が痛んだ」でもいいのです。一日のうち一分でも、さまざまな状況のなかで生きている人たちがいると思いを寄せられればいいと思います。自分一人の力は微力かもしれないけれど、無力ではないのですから。



テラ・ルネッサンスが支援活動を行っている元・子ども兵の社会復帰プロジェクトの一つ、洋裁の授業風景（ウガンダ）

——ニコニコ——

### 狩野 勉君

劉さんがいろいろとお世話になりました。

### お 願 い

欠席される方は、遅くとも前日までに事務局へご連絡下さい。また、近隣のクラブへのメイクアップを是非お願い致します。（メイクアップされるクラブへ事前連絡をして下さい。）

### 前 回 の 例 会 (3/12) 報 告

点 鐘 石上 明宏 会長

#### 出席報告

会員総数	40 名	出席規定除外数	7 名
出席者	27 名	出席率	71.05 %
2月26日		確定出席率	71.80 %

#### 来訪ロータリアン

信田秀紀君 佐藤直子君 高木浩一君（銚子RC）

欠席者 11名

メイクアップ なし

スモールコインBOX	小 計 ￥ 2,350-
	<b>累 計 ￥ 69,046-</b>
ニコニコBOX	小 計 ￥ 20,000-
	<b>累 計 ￥400,300-</b>

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789  
メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室  
会長 石上 明宏 副会長 宮内 博 幹事 藤崎 一成  
クラブ広報・会報委員会 川津 光雄・福田 昭浩・平野 恭男・杉浦 武  
表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。